

第3回新居浜市長期総合計画策定市民会議『産業振興部会』会議録

1. 日 時 平成21年12月15日(火) 18:30~21:30

2. 場 所 市役所3階応接会議室

3. 出席者

委員 ○部会長 神野 幸雄 ○副部会長 近藤 彰一
片上 政明 伊藤 康雄 小野 雄史 岡部 成彦
平山 敦子 越智 俊博 佐々木清隆 和田輝世伸
(欠席) なし

事務局 ○専門部副部会長 藤田 理
本田 龍朗 前田 和信 石川 正人 赤尾 穎司
桑原 一郎
○まちづくり担当 佐藤 秀樹

4. 傍聴者 西原 司

5. 議事 (1) 施策体系検討ワークシートについて(現況、課題について協議)
(2) 次回の開催日について
(3) その他

	(1) 施策体系検討ワークシートについて
部会長	本日は、8つの分類のうち、工業、商業、運輸交通体系、別子山の5つについて、説明、質疑応答・意見交換をお願いしたい。なお、今回は、各分類ごとに、委員さんからすべての項目を説明していただき、後ほど、質疑応答などをまとめて行いたい。よろしくお願いします。
事務局	①工業商業の現況と課題を各委員から説明後、質疑・意見交換 最近の高専や工業の生徒はどの程度技能を取得しているのか。
委員	実習生を受け入れているが、1週間で教えることができる程度。雇用したとしても、それから技能を教えていかなければならないのが実情。
委員	40代以下の職人が少ないとため、10年たてば、教えられる職人がい

	なくなる。この10年で、勘やコツをうまく伝えていくことが大切である。ものづくりを教えていく仕組み、伝承システムを早く作っていかないといけない。大手にアピールするためにも必要で、危機感を感じて真剣に考えないと、住友の新居浜離れも進むのではないか。
委員	技術がないと、どんどん作りやすいものだけ作るようになる。しかし宮大工と同じで、特殊技術を持つ必要がある。
委員	新居浜の工業は、昔は教科書にも載るくらいのレベルだった。今は、他の工業地帯から人を引っ張ってきてているのが実情。
委員	九州の高田工業所では、6ヶ月間の研修制度がある。人材教育は設備投資と一緒に考えであり、若年の社内インストラクターも育てている。大手が一生懸命やっているので、今から差が出てくる危険性が高い。
②商業の現況と課題を各委員から説明後、質疑・意見交換	
委員	個人商店の数はどれくらい減っているのか。落ちていくスピードは直線的か。
事務局	個人商店に絞ることは難しいが、小売業の事業所数では、平成14年度は1502だったが、平成19年度は1200と、ほぼ直線的に減少している。
委員	商店街連盟の商店数も、かつての300位から80程度に激減している。
③観光の現況と課題を各委員から説明後、質疑・意見交換	
委員	岸和田は、祭り以外の観光資源を持っていないが、新居浜の場合は別子銅山320年の歴史がある。祭りと組み合わせたら、絶対に客を呼べると思う。専門家を呼んで検討したらどうか。
委員	行政が、観光により事業収入をあげていくという考えで、真剣にプロ

	ジェクトとして取り組むべきである。
事務局	最近では、まつりのブランド化に取り組み、県、西条市と一緒に取り組んだ。また、ニューツーリズムといって、広域的ではあるが、新たな観光ルート化の動きもある。
委員	④運輸交通の現況と課題を各委員から説明後、質疑・意見交換 郷桧の端線の完成はいつごろになるのか。
事務局	完成時期は発表されていない。概ね10年後までに着手予定としている。
事務局	運輸交通に関しては、平成21年3月に、新居浜市都市交通計画を策定し、平成21年度から30年度までの施策も検討している。第5次長期総合計画の期間と重なっているので、本日、資料を配布しているので、参考にしていただきたい。
委員	⑤別子山の現況と課題を各委員から説明後、質疑・意見交換 どれくらい人口が減っているのか。
事務局	平成11年度が290人、21年度が203人となつており、10年間で87人の減、合併した平成15年度からでは59人の減となっている。
委員	新たな移住者(転入者)はどれくらいか。
事務局	2～3人といったレベルである。
委員	高齢化率は？
事務局	平成21年8月現在で、65歳以上の高齢化率は、48.51%である。

委員	以前、イノシシ鍋を食べたが、大変おいしかった。
委員	別子山にどんどん来ていただきたい。 よろしくお願ひします。
(2) 次回の開催日について	
第4回市民会議産業振興部会は、平成22年1月20日（水） 18：30～ 応接会議室で開催し、抽出した各課題について、解決策 を検討する。 なお、解決策を議論する方法については、本日まで議論した各項目に 委員さんそれぞれが解決策を考えていただく方法と、市職員が解決策の 原案を作り委員に提示し、コメントや肉付けを行っていただく方法のど ちらを選択するかを協議した結果、市民会議委員が抽出した課題を含め て、市職員が解決策のたたき台を作成し、それをもとに議論していくこ となる。	